

Aprire



秋田大学広報誌〈アプリーレ〉

No. 42
2013

特集

国際資源学部
新設

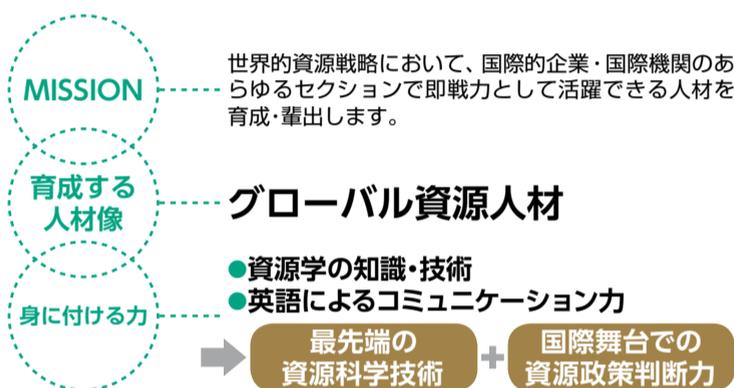


特集



2014.4 国際資源学部 新設

国際資源学部の概要



秋田大学 国際資源学部

社会的課題とニーズ

- 国内資源学教育の現状は、資源系学科の再編・縮小により資源分野を網羅する一貫教育が困難な状況に
- 海外に偏在する資源の獲得・開発や研究を担う国際感覚を持つ人材の養成が急務
- 1世紀にわたり資源学を牽引してきた秋田大学に国内外大学等の強みを結集し、資源学教育研究拠点として日本・世界に貢献する学部へ

国際資源学科 (120名)

国際分野において求められる『人文社会系・技術系パッケージ型教育』を展開し、グローバル資源人材の養成を実現

資源政策
コース
(30名)

資源地球
科学コース
(35名)

資源開発
環境コース
(50名)

コース共通留学生枠 (5名)

共通教育

グローバル化に対応した総合的な英語力
広い視野に立って自らの考えを発信できるコミュニケーション能力
社会の変化や多様性に柔軟に対応できる豊かな人間性
国際資源戦略を担うための人文社会的基礎知識
資源地質・鉱床解析に関する基礎知識
資源開発と環境対策に関する基礎知識

専門教育

資源国の法・経済制度や国際法・各国政治制度の知識習得	世界を対象とした資源分布予測手法の体得	激化する資源獲得競争を勝ち抜く資源開発技術
国際情勢・資源経済・鉱業法等の資源政策の理解	新たな鉱山資源の探求	資源生産の最適な手法の検討
資源開発地域固有の歴史、文化、宗教の理解	最先端地球科学からの地球史解析	資源循環型社会の形成に寄与するリサイクル・精錬技術
異なる文化の橋渡し「文化間コミュニケーション」能力の知識と技術	資源生成システムの解明	鉱山における環境保全技術

共通連携

世界的資源戦略において、国際的企業・国際機関のあらゆるセクションで即戦力として活躍できる人材を養成・輩出する

秋田大学は、資源分野において100年の歴史を有しており、専門技術、国内外の人脈の蓄積を礎とした「資源探査・開発から環境リサイクルまで」を国内で唯一体系的に学べる基盤があります。これまでに培ってきた資源学教育に加えて、新たな国益を生み出す機能を強化すべく、平成26年4月、日本における資源学教育の国際拠点

となる「国際資源学部」を新設します。国際資源学部では、世界の第一線で活躍する研究者や技術者を結集し、国内外の主要大学や企業、諸機関等との連携体制を構築します。また、全学生が国内外の資源の現場で実習・演習を行うことを重視したカリキュラムを構成し、実践的かつ学生が互いに学び合う「人文社会系・

技術系パッケージ教育」を展開します。「日本や世界の資源政策を担い折衝・交渉ができる人材」「世界をフィールドとして実践力を発揮できる技術人材」といった文理双方のグローバル資源人材の養成を実現します。そして、日本国内のみならず世界の持続的発展に寄与することを目指します。

資源小国の日本が、製造業の分野でこれからは世界をリードしていくには、鉱物資源やエネルギー資源の安定的確保が欠かせないのが現状です。資源保有国との良好な協力関係の維持・構築、高度な生産技術や環境保全技術に基づく開発途上国での資源開発支援は日本の持続的な経済発展の鍵を握っていると看做しても過言ではありません。国際資源学部が育成する「グローバル資源人材」その活躍の舞台は世界中に広がっています。

グローバル資源人材を養成する「国際資源学部」

国際資源学部の特色

- 1. 資源のプロフェッショナルを育てる学部⇒日本初の資源学一貫教育**
最先端の資源学を研究する教授陣から知識と技術を学ぶことにより、世界で活躍するための実力が養われます。
- 2. 広い視野の育成⇒文理融合カリキュラム**
専門教育の一部はコースを横断して履修できるカリキュラムとなっており、文系理系の枠を越えて資源学を修める上で共通に求められる知識・技術を修得することができます。世界の資源探査・開発動向を広い視野から見渡せる人材を育成します。
- 3. 海外が舞台⇒海外実習必修の教育制度**
海外実習必修の教育制度を導入します。入学して3年後、確かな実力をつけて世界の資源フィールド実習に全学生が出かけます。
- 4. 外国人教員や留学生とともに学ぶ⇒専門科目は全て英語で履修**
1・2年次に「EAP」という英語特別教育で基礎力を養い、その後のディスカッション演習、ディベート演習によって、実際に英語で議論ができるようになることを目標に学習を進めていきます。2年次以降の専門科目は全て英語で履修します。入学試験には留学生募集枠も設定しており、世界を舞台にした学びをより積極的に行うことができます。

国際資源学部は3つのコースがあります。

国際資源学部は、「日本や世界の資源政策を担い折衝・交渉ができる人材」「世界をフィールドとして実践力を発揮できる技術人材」といった文理双方のグローバル資源人材の養成を実現するため、3つのコースを設けます。

資源政策コース

資源地域の文化や情勢を理解し、責任ある資源開発を広く深く考察する素養を養い、現代の産業と社会生活を支え未来を創る資源・エネルギー戦略を担う人材を養成します。

〈主な学習内容〉

- 資源開発関連の法制度や政治制度
- 資源政策
- 資源開発地域の歴史、文化、宗教
- 文化間コミュニケーション

資源地球科学コース

世界を対象にした資源分野分布の予測と新たな地球資源の可能性を探求する最先端地球科学分野の技術者・研究者を養成します。

〈主な学習内容〉

- 資源分布の予測
- 鉱山資源の探求
- 最先端地球科学からの地球史解析
- 資源生成システムの解明

資源開発環境コース

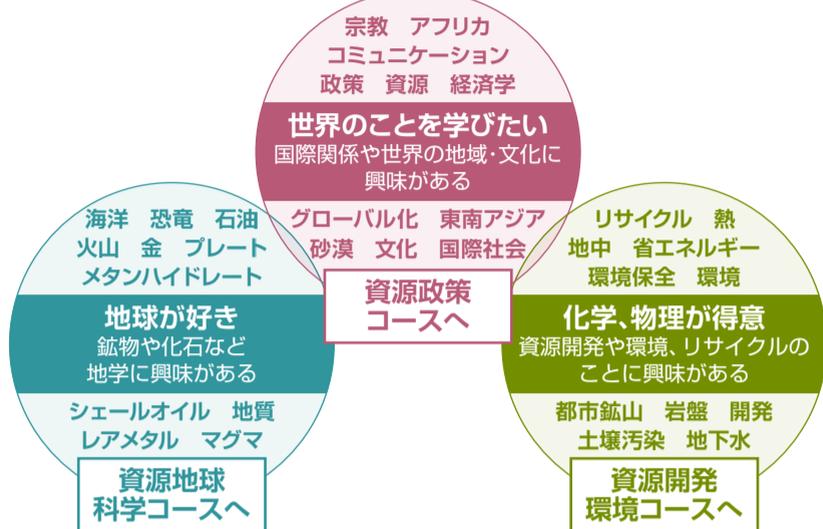
限りある地球資源を持続的かつ有効に活用するため、地球環境に配慮した資源開発と資源循環型社会の形成に寄与できる技術者・研究者を養成します。

〈主な学習内容〉

- 資源開発技術
- 資源生産の最適手法
- リサイクル・製錬技術
- 鉱山における環境保全技術

あなたの興味・関心があるのはどのコース？

あなたが今までに関心をもったことは何ですか？ 関心のあるキーワードを見つけて、あなたの学問の扉をひらきましょう！



カリキュラムの特色

コース	1年次	2年次	3年次	4年次
資源政策コース	〈教養教育科目〉 ○初年次ゼミ ○主題別科目 現代社会 人間と文化 科学の探求 地域社会 技能の活用 ○国際言語科目 ○スポーツ文化科目	〈専門科目〉 ●資源政策論 ●国際法 ●交渉学 ●石油資源論 ●エネルギー地政学 ●資源地域研究 ●資源動向論 ●地質図学 等 ●地史学 ●石油地質学 ●地質学 ●金属鉱床学 ●岩石学 ●材料力学 ●地球物理学 ●資源処理工学 等	●国際情勢分析論 ●鉱業法 ●資源契約論 ●資源環境経済学 ●人的資源管理論 ●資源開生産論 ●資源循環学 ●リサイクルシステム学 等 ●構造地質学 ●古環境解析学 ●堆積学 ●X線結晶学 ●リモートセンシング地質学 ●防災地質学 ●物理探査学 ●岩石力学 等	卒業課題研究
資源地球科学コース	〈基礎教育科目〉 国際資源外交史 異文化コミュニケーション 資源開発と人権問題 基礎資源経済学 日本の国際協力 基礎数学 基礎物理学 基礎化学 基礎物理学実験 基礎化学実験	●流体力学 ●物理化学 ●石油工学 ●工業製図 ●粉体・界面工学 ●分析化学 ●地球化学 ●金属鉱床学 等 ●物理探査学 ●資源探査学 ●岩盤工学 ●リサイクル・廃水処理工学 ●資源開生産論 ●素材開発工学 ●製錬プロセス工学 ●資源環境経済学 等	海外資源フィールドワーク〔全学生必修〕	卒業課題研究
資源開発環境コース				

専門科目は全て英語で履修

世界で活躍するために、英語力は必須です。国際資源学部では、1・2年次に「I-EAP」という特別なカリキュラムで集中的に英語を学びます。また、ディスカッション演習、ディベート演習によって、実際に英語で議論ができるようになることを目標に学習を進めていきます。こうした実践的な英語学習を経て、専門科目の講義は全て英語で行います。語学力の面でも、国際的な最前線で戦える力を身に付けることができるカリキュラムを用意しています。

文理融合カリキュラム

海外で資源の開発を行う上で、その国の政治・経済状況、文化や宗教観を知っておくことは、極めて重要な意味を持っています。また、資源を扱うには、文化だけでなく、その国特有の事情や関連する法律についても知らなくてはなりません。専門科目の一部はコースを横断して履修できるカリキュラムとなっており、文系理系の枠を越えて資源学を修める上で共通に求められる知識・技術を修得することができます。企業が海外での資源戦略を展開する上では、文系の人間と技術系の人間の両方が必要になり、資源開発において文理両方の視点は必須となります。

海外実習必修の教育制度

3年次の後半に、全学生が海外資源フィールドワークに参加します。国際資源学部を設立するにあたって、国内の大学や企業はもちろん、海外の大学や企業からもご協力をいただき、国際資源学部の120名全員が海外で1か月程度のフィールドワークを体験できるネットワークを用意しています。候補地としては、ヨーロッパや北米、モンゴルやインドネシアなど、世界各地の鉱床などがあります。運営されている鉱床そのものを見たり、それに附属する研究施設を見学したりして、実際に稼働している資源開発の現場に入ること、これから自分の取り組む研究のテーマを体験します。

I-EAP(集中大学英語)

I-EAPとは、Intensive-English for Academic Purposesの略。英語力を「読む(reading)」「聞く(listening)」「書く(writing)」「話す(speaking)」「プレゼンテーション(presentation)」の5つの技能に区分し、8週間一区切りで個別技能の教育を行う集中講座。授業は全て英語で行い、技能別に目的とクラスレベルに合った教材を担当教員が選定し、少人数編成のクラスで基礎英語力を徹底的に鍛えます。

ディスカッション演習

ディベート演習 プレゼンテーション技法
実際に英語で議論ができるようになることを目標に学習を進めていきます。語学力の面でも、国際的な最前線で戦える力を身に付けます。

国際資源クリエイティブ演習

全学生必修の海外資源フィールドワーク(鉱山・石油関連企業や商社・国際協力機関等での4週間程度の実習)の目的を理解し意義あるものにするため、事前・事後学習を設けます。

〈学部共通科目〉 ●国際関係論概論 ●地球科学概論 ●資源地域社会学概論 ●資源地質学概論 ●資源開発環境学概論 ●=必修科目

基礎

資源を学ぶ上で基礎となる知識を習得する。

発展

学部共通科目で学んだ資源の基礎的知識を基盤として、各コースの専門に関連する分野を発展的に理解する。

実践

海外における実践的な学びにより、世界の資源フィールドで活躍するための広い視野を身に付ける。専門性を高め、卒業課題研究で取り組むテーマを明確にする。

地球ができて46億年の歴史は、深海底の堆積



資源地球科学コース教授
佐藤 時幸
(平成26年4月より兼任予定)

資源分野で求められる英語力は、単に英語が話せるというだけの力ではありません。相手国の宗教や文化等への深い理解を持ちつつ、資源獲得に向けた交渉を行い、確実に成果を得ることのできる英語力です。そうした英語力を獲得するため、1・2年次に集中大学英語「I-EAP」を用意。基礎を徹底的に鍛え、さらに、2・3年次に、ディスカッション演習やディベート演習に取り組み、交渉力を強化していきます。ぜひ、国際資源学部が誇る英語教育で世界と渡り合える英語力を磨いてください。



資源開発環境コース教授
柴山 敦
(平成26年4月より兼任予定)

私たちは、国際的に進む資源開発にどのよう技術協力できるか、グローバルに活躍できる力や資源開発のプロジェクトを担うための教育研究に取り組んでいます。その中で私自身は、リサイクルや鉱物資源をいかに効率よく取り出すかという研究をしています。高校時代にしっかりと夢を持って学び、そして大学で自由にその知識を生かしてもらいたいと考えています。

資源分野で求められる英語力は、単に英語が話せるというだけの力ではありません。相手国の宗教や文化等への深い理解を持ちつつ、資源獲得に向けた交渉を行い、確実に成果を得ることのできる英語力です。そうした英語力を獲得するため、1・2年次に集中大学英語「I-EAP」を用意。基礎を徹底的に鍛え、さらに、2・3年次に、ディスカッション演習やディベート演習に取り組み、交渉力を強化していきます。ぜひ、国際資源学部が誇る英語教育で世界と渡り合える英語力を磨いてください。



資源政策コース教授
宮本 律子
(平成26年4月より兼任予定)

受験生の皆さんへ

国際資源学部就任予定の教員からメッセージ

物やあなたにとっても身近な山の中などにも記憶されています。例えば、海洋の堆積物を1cm毎に調べれば、過去から現在まで地球で何が起きていたか細かく知ることが出来ます。これは非常に楽しい学問で、サンプルを手にした瞬間に、学問の最先端に到達しています。地球の歴史を身近に感じたいという好奇心に満たされたあなたが、私たちの大学と一緒に学んでくれることを期待しています。

臨床心理アセスメントと 自殺リスク評価



教育文化学部附属教育実践研究支援センター
教育臨床研究部門

准教授 北島 正人
Kitajima Masato

心理学と聞くと、カウンセリングや心理検査といった臨床心理学に関するキーワードを思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。臨床心理学は、認知心理学や知覚心理学、学習心理学といった基礎心理学を基盤として、それらを人の心理的健康の維持・増進に用いる応用心理学の一分野です。この臨床心理学を実践する専門職として「臨床心理士」という職名があります。臨床心理士は医療、教育、福祉、司法・矯正機関といった色々な領域で活動し、主な業務として観察や心理検査を含む「心理アセスメント」、精神分析や行動療法、一般的な心理カウンセリング技法を含む「心理療法」、そして「臨床心理学的地域援助」「研究活動」の4領域を包括します。

私は秋田大学に赴任する以前、神奈川県内の2つの大病院で臨床心理士として主に臨床業務に携わってききました。そこでは、避けることのできないテーマとして自殺予防に関心を置いてきました。最近では自殺予防にとつて自殺未遂者の支援が非常に大切だと考えられるようになってきています。未遂者の中には未治療の方も、すでにかかりつけの医療機関を持つ程度の方もそれぞれあります。前職の大病院チームと協同し、前者に近い治療歴の浅いケース、後者に近い一定以上の治療歴を持つケースの双方を対象に、複数の心理検査を用いてできるだけ細かく自殺のリスク評価を行うことを試みています。これと併せて、教育分野でも

教師のバーンアウト(燃え尽き)に関して心理アセスメントを用いたリスク評価の研究を行っています。疾患や問題行動に至る前の状態を正確に捉え、そのプロセスごとの状態をより明確にしておくという点ではどちらも同じものと考えています。

研究の他にも大事な仕事があります。それは、自らの臨床業務と臨床心理士の養成教育です。秋田に来てからは、医療機関以外にスクールカウンセラーとして教育の現場に、また同じ再犯防止教育プログラムの講師として刑務所に出向き、実務者としての腕を磨いています。大学の臨床心理相談室では、大学院生の教育を兼ねて一般の方向けの心理療法を行っています。全国に2万6千名いる臨床心理士が秋田県には100名程度しかいません。かつ、大学院の心理教育実践専修は秋田県唯一の養成機関でもあります。臨床心理士の養成において秋田大学は非常に重要な立場にあることを踏まえ、学生には我々教員の研究と臨床を基本として実践的な力を身につけてもらうことが大切だと考え、日々教育に力を入れて取り組んでいます。



ゼミ風景



研究室の皆さんと

毎日自炊ガンバルゾ!
お買い物どこに行こう?

まちのみんなに
「ナイスなスーパー」!!

外旭川店 仁井田店 追分店 八橋店 割山店 新屋店 仁井田南店 土崎店
(018)868-2611 (018)835-3111 (018)873-3211 (018)865-2211 (018)865-6911 (018)828-6911 (018)826-1811 (018)857-5211

お客様相談窓口
(10:00~19:00)
☎0120-28-9995

安心・安全な医療を提供 心の通ったケアの実践を目指して



医療を提供すると共に、心の通ったケアが実践できることを目指しています。

今日、チーム医療が推進されている中で、看護という仕事はあらゆる場面で注目されています。当院では患者さんへの一般的な看護に加え、専門的知識や技術を深めた認定看護師による組織横断的な活動も積極的

秋田大学医学部附属病院は、ご承知のとおり県内唯一の大学病院であり、医学部附属の病院として、医師、看護師、助産師、保健師、理学療法士、作業療法士を育成する教育機関でもありません。また、同じく県内唯一の特定機能病院として、高度医療の提供、技術開発・研究を行っています。高度医療を支え、患者さんへ最善の医療サービスを提供できる看護職員を育成すべく、「キャリアアップシステム」「生涯学習単位認定制度」「資格取得者活動支援制度」を柱とする独自の能力開発システムを構築しています。

キャリアアップシステム

経験年数に応じて期待する看護実践能力や職業人としての役割による到達目標を具体的に示すシステム

生涯学習単位認定制度

研修受講、一般免許などをポイント化して個々が自己の学習成果を形として認識できる制度

資格取得者活動支援制度

自ら学び、特定の看護分野で資格を取得している人材を登録し、その資格を院内で有効活用できるように支援する制度

これらの能力開発システムは、平成16年3月に開催された厚生労働省・新人看護職員の臨床実践能力の向上に関する検討会の報告書に示された臨床看護実践の3つの構造である「看護職員として必要な基本姿勢と態度」「技術的側面」「管理的側面」を基本とし、それらをさらに掘り下げ、バランスの良い人材育成をすることで患者さんに安心・安全な

に拡大しているところで。私は生まれも育ちも秋田市で、昭和47年4月に県立衛生看護学院看護科が国に移管され、秋田大学医学部附属看護学校となった年に入学し、卒業後はずっと当院で勤務してきました。平成10年に看護師長となり、平成19年から看護部長を務め、今年で7年目に入りました。約15年間、看護の実務よりも看護管理を中心に取り組んできたことになりました。そんな私が現在は仕事の傍ら自宅で母の介護をしています。看護技術はおぼつかないところもありますが、数分ごとに同じことを質問する母に対して、ただの一度も「さっきも聞いたわよ」と言ったことがない自分。少しだけ胸を張れる思いがあり、公私ともにしみて「看護師で良かった」と思う毎日です。



看護部の皆さん(左から、鈴木副看護部長、大塚副看護部長、高島看護部長、白川副看護部長、藤田副看護部長)

医学部附属病院看護部
看護部長(兼)副病院長

高島 幹子
Takashima Mikiko

年齢ではない、強い意志。

私は国保で 勝ちに行く。



秋田ノーザンハビネッツ
ヘッドコーチ

中村 和雄

72歳

勢 2013
林 2013
15と027に
勝 っていく

生活習慣病予防の為に、特定健診を受けましょう。

- 市町村国民健康保険 ●国民健康保険組合
- 秋田県国民健康保険団体連合会

国保は皆さまに支えられています。

秋田 国保

検索



動画は
こちらから

サステイナブルな 社会のために



大学院工学資源学研究所
共同ライフサイクルデザイン工学専攻

教授 三島 望
Mishima Nozomu



使用済み電子機器の回路基板

ライフサイクルプロセス技術における日本の中心地の一つです。その分野の教員と協力しながら、「設計」という観点から環境にやさしいものづくりを取り組むことで様々な興味深い研究ができると考えています。例えば、希少元素の回収効率、分離効率までを考慮した製品設計、製品の資源効率評価のための新しい指標の提案、より多くの使用済み製品を回収するための社会システム提案などが挙げられます。

平成26年4月からは、学部再編により理工学部のシステムデザイン工学科創造生産工学コースとなる予定です。所属は変わっても今までと同じように、ライフサイクル全体を考慮した創造的ものづくりの実現を目指したいと考えています。

皆さんは「ライフサイクルデザイン」という言葉にあまりなじみがないと思います。平成24年4月に開設した新しい専攻の名前です。意味は、製品の二生つまり原材料の採掘から素材の製造、製品の製造、使用、廃棄（またはリサイクル、リユース）まで全てを見通して、「環境にやさしい製品をつくりましょう」「環境にやさしい使い方をしましょう」という考え方をします。秋田県立大学と共同して設立した専攻で、ライフサイクルデザインに特化した大学院の専攻は日本で初めてと三島が言っています。私はこの専攻の設立と同時に、産業技術総合研究所という国立の機関から異動して来ました。研究室では、部品リユースや小型電気電子製品に適したリサイクルプロセス、資源効率の評価法、リサイクルを含む使用済み製品の流れの分

析、風力発電のより良い導入を目指した住民意識の調査などのテーマに取り組んでいます。

1. サステイナブルって何だ？

サステイナブル、最近良く聞く言葉です。日本語では「持続可能な」と訳し、地球の環境を守りながら豊かな生活を継続的に営むことができる、ということの意味です。地球の人口はどんどん増えています。今まであまり資源やエネルギーを使っていなかった国の人々も、便利で快適な生活を求めています。現在の生活レベルを維持するだけでも大変な努力と技術が必要なのです。そのような努力を行いながら、私たちが健康で快適、かつ便利な生活を維持すること、それがサステイナブルということなのです。

2. なぜライフサイクルデザイン？

サステイナブルな社会を築くために、多方面の分野から様々な研究が必要です。壊れてしまった環境を修復する技術、人々の健康を守る技術、より多くの資源を獲得する技術…。その中で、ライフサイクルデザインは「ものづくりに着目しています。現代社会は人工物（機械、建築物、衣服など）で構築されていて、それなしでは私たちの生活は成り立ちません。そのような「人工物」をどうやって設計し、どのようなエネルギー源を使い、どのように作り、そしてどのように使うかを考えることはサステイナブルな社会の構築のために必要不可欠です。

3. なぜ秋田？

秋田大学は資源科学分野の大きな蓄積をベースとして、



分解実験の様子

YAMAHA ヤマハ大人の音楽レッスン



11月末まで 入会金5,250円→3,150円の40%オフキャンペーン実施中
オカリナ以外の楽器や歌など、多数レッスンを取り揃えております。
ご興味のある方は、アルヴェ3階ヤマハピアージュまでご連絡をお待ちしております。

～オカリナ～

男女問わず、幅広い年齢層の方に親しまれているオカリナ
楽器経験がない初めての方でも気軽に楽しめる楽器です。
皆さんも、癒しの音色と一緒に奏でてみませんか？

備品楽器常備のため、楽器をお持ちではない方でもレッスン可能です。
ヤマハピアージュでは、無料体験レッスン・レッスン見学実施中♪
お気軽にお問い合わせ下さい。



手ぶらで
OK!!



秋田駅から直結徒歩3分!!

ヤマハミュージックサロン秋田ピアージュ TEL.018-884-7703 (秋田拠点センター アルヴェ3階)



サークル紹介

club activities

秋田大学写真部

皆さんは秋田大学写真部をご存知ですか？毎年2回、秋田大学インフォメーションセンターで行われる写真展を中心に活動しています。写真展では、大きなテーマを設定した「企画展」と、テーマを設定しない「自由展」を開催しており、多くの人を楽しませていきます。



左:「芽吹」、右:「佳客」(秋田市千秋公園の桜と藤) 撮影:進藤

コツを聞いてみると、鎌田さんは「高価でないカメラでも、シーンモードなどを利用してみると良いと思います。露出を高めて光を多く取り入れるなど、被写体に合わせて設定を調節することが大切ですよ」と教えてくれました。県内のコンクールなどに写真コンテストにも自由に参加している写真部。「今後は学外のコンクールにもより積極的に参加し、学内の写真展も回数を増やしていきたい」と意気込みを語ってくれました。

秋田大学報道局(AUP) 濱田

能代宇宙イベントに参加して

学生による日本最大規模の宇宙イベント「第9回能代宇宙イベント」が、平成25年8月19日から25日にかけて開催されました。秋田大学から参加したASSP(秋田大学学生宇宙プロジェクト)学生代表の声を紹介します。

秋田大学学生宇宙プロジェクト(ASSP)学生代表

工学資源学部地球資源学科3年次

武井 瞳

私自身、今回の能代宇宙イベント(以下、NSE)は2回目の参加でした。

NSEに初めて参加した昨年は、目の前のことをただがむしゃらにこなしていた記憶があります。忙しさのあまりつらい時もありましたが、楽しいこともたくさんありました。

今年には学生代表として、昨年とは違った目線でイベントに取り組み、良い経験ができたと思っています。より多くの方々と接する機会があり、他大学の学生のNSEに対する強い意気込みや、能代市民の方の応援のものとNSEが成り立っていることを直に感じる事ができました。まだまだ未熟ですが、様々なことを経験して私自身の視野も広がったか

など思っています。

NSEに参加したASSPのメンバーを対象にアンケートを実施したところ、多くのメンバーがイベント前と比べ何かを得た、または変わったと答えています。その他にも、他大学との交流イベントに従事する方や様々な方との交流を通して色々なことを得たと回答しています。特に自分たちと同じ興味・目的意識を持つている人たちとの交流によって、お互いのモチベーションの向上に繋がったと感じています。

NSEを通して様々なことを得る事ができました。今後この経験を生かして、日々活動していきたいと思っています。



【能代宇宙イベントとは?】

宇宙を目指す全国の高校生や大学生による日本最大規模のアマチュア宇宙イベント。秋田県能代市で毎年開催され、今年で9回目となる。大学生らの設計・製作したハイブリッドロケットの打ち上げや、空き缶サイズの「模擬人工衛星」の性能を競う缶サット競技などが行われ、例年全国から20を超える団体や学校が参加している。一般公開日には、水ロケットの打ち上げなど体験型の企画も用意。また、商店街の空き店舗を利用した大学生によるロケットの組み立て作業の一般公開など、地元市民を巻き込んだ夏の一大イベントとなっている。



Column

文章力UP



「二目惚れ」という言葉もあるぐらいですから、初対面、そして第一印象というのは大切なものです。わずかな間で「方向」が定まり、その後の会話が弾んだり、逆に沈んだりしてしまうこともあります。なんとなく、分かりますよね。

文章も同じかもしれません。書き出しの数行の印象が、読む気にさせるかどうかを決めてしまうことも少なくありません。特に一度に大量のエントリーシートや小論文を読んでいる時には、入り口でつまづいてしまった文章を読み続けるのは、想像以上に「根性」がいるものです。

個人的な見解ですが、例を挙げて考えてみましょう。

例えば「あなたの趣味はなんですか?」という設問で、回答者の趣味が読書だとします。

ここに「私の趣味は、読書です」と書き出されてしまうと、私としてはちよつと残念な気持ちになつてしまいます。

① あなたの↓私の
② 趣味は↓趣味は
③ 何ですか↓読書です

上段が質問、下の段が回答ですが、少なくとも①と②の記載は不要です。質問と答えがだぶついているために、文字(回答スペース)を無駄にして、その結果、文章の緊張感を失っています。

では、どんな書き出しが可能でしょうか。あくまでも例ですが、作文を試みてみます。

「本を読むことが生活の一部になっています。ジャンルは問いません。

歴史をひもといたり、ミステリーを楽しんだり。ページを開くだけで違う世界につながる読書が、自分にとって大切な時間です」

「ネットも楽しみますが、本を広げ、印刷された活字を読むことに心地良さを感じます」

私が面接官だったら、こんなエントリーシートを読んだらわくわくしてしまいます。なぜか。「趣味は?」と問われると、読書(くらい)しか思いつかない残念な五十歳。これが私だからです。

さて、文章は「書き出しが勝負」ということは、前期に担当した日本語リテラシーという講義でもお話しさせていただきました。一時間で八百字の小論文テスト。いきなり書き始めるのではなく、最初の十分間は目を閉じて、小論文の課題が何を問っているのかを考える。

そして、書き出し。できれば、経験に基づいた場面が欲しい。一行二十文字の、せいぜい五行分を真剣に考える。ここまでに三十分使ってもかまいません。残る三十分で、きちりとつけた方向めがけ、一気に書き込めばいい。入り口がぴしっといけば、その後は勢いで、気がつけば原稿用紙も終盤。そして、ラスト三〜五行で着地。入り口で好スタートが切れば「予選通過」は間違いありません。

秋田大学国際課長

(元朝日新聞記者)

高橋 康弘

秋田大学 分校長 だより

Vol. 08



北秋田分校長
濱田 純

秋田内陸線 お座敷列車のんびり？

実は免許更新講習 先生33人地域素材学ぶ

右のタイトルは平成25年7月26日付けの「おおだて新報」6面の見出しである。読み手を意識しつつも意味深で、思わず感心してしまった。

昨年、ある方から「北秋田分校で教員免許更新講習を開講してはどうか」というアイデアを頂いた時、とっさに浮かんだのが秋田内陸縦貫鉄道(以下、秋田内陸線)名物「スタディ・トレイン」であった。

スタディ・トレインとは、沿線に位置する秋田県立秋田北鷹高等学校のテスト期間に運行する、車内で勉強ができる列車のことである。「これなら使えるかもしれない。秋田内陸線の沿線は地域そのもの。車窓からは日本の原風景が見える。実際に地域を体感しながらのフィールドワークを…」とプランを練って、平成25年7月24日、やっと実現にこぎつけた。

講習の概要は次のとおりとした。
「総合的な学習の時間を



沿線にある田んぼアート「早苗ちゃん」



お寺の前で話を聞く



スタディトレイン車内での試験

充実させるために、地域の伝統的な食文化や史跡などの教材化を通して、授業力の向上を図る。当日は、秋田内陸線とその沿線地域から課題を設定し、課題解決のためのフィールドワーク及び教材開発に関する講義・試験が主な内容」

さて、この講習には県内小中高校・特別支援学校から教員33人が参加。先生たちはどんな問い(?)を見つけていることができるだろうか。10時25分、鷹ノ巣駅を出発したスタディ・トレイン。「秋田の先生は優秀」と他県から言われるが、なるほどと納得。既に車内では秋田内陸線提供の沿線資料をもとに勝手に話し合いが進んでいる。講習のねらいに向かって「直線」「これだと余計なことを言う必要は無いな」と判断し、先生たちを見守ることにした。

約1時間で阿仁合駅に着。先生たちは地元郷土研究家の戸嶋喬さんを講師に、5つの寺巡りと地元のお祭りを探しを行った。午後の演習では、なぜお寺の名前に金銀が入っているのか、なぜ墓石に御影石が多いのか、なぜお寺に佐竹の家紋と徳川の家紋が一緒にあるのか、なぜ馬肉の料理が多いのか、なぜバター餅が食されてきたのかなど、たくさんのお問い(?)が生まれていた。

探究と共同をキーワードとする総合的な学習のポイントは教師の問い(?)である。全員がねらいを十分に達成している。後は帰りの試験だけ。約1時間、スタディ・トレイン車内で熱心に取り組んでいる先生たちの姿を見て、「秋田の未来は大丈夫」と安心感を覚えた。言うまでもなく試験内容は全員が花マル。ただ、揺れる列車の中で試験は大変だったろうと反省しきりである。電車酔いの中、頑張った方々、ごめんなさい。来年の試験は教室でやりますから。

医学部保健学科看護学専攻
3年次
石川 沙月
中島 巳歌

医学部保健学科学生短期海外特別研修として、8月中旬から2週間ほどブータンを訪問しました。研修は協定校である王立ブータン大学健康科学院で行われ、期間中は現地の学生と共に過ごしました。私たちは少人数制の授業に参加したり、看護業務や分娩介助を行う実習などを見学したりしました。現地の学生は非



ハロにて(左・石川さん、右・中島さん)



王立ブータン大学健康科学院の教員と

国際交流 王立ブータン大学健康科学院

ブータンで得た学びと 今後の協力の方向性

医学系研究科保健学専攻
母子看護学講座

助教 吉田 倫子

8月中旬からおよそ1か月間、王立ブータン大学健康科学院を訪問しました。大学の講義や現地の病院診療所への視察を通じて、秋田大学がブータンのためにどのような協力ができるかを探るためです。

現地医療に触れて感じたことは、家族の存在の大きいです。ブータンでは医師が不足しているため、日本では医師が行う業務の一部を看護師が行っています。慢性的な人手不足により、看護師は最低限のケアしかでき

ません。そのため、家族の付き添いがなければ入院することもできず、多くの家族が看護師に代わって患者さんの看護を担っているのが現状です。



ブータンの赤ちゃんと吉田助教



ブータンの病院で現地スタッフと

家族が患者さんの回りに付き添い、身の回りの世話をするということは良い面もたくさんあると思います。しかし、患者さんのためには医療の質を向上させることが不可欠です。清潔操作(感染予防のため)、消毒した手指で滅菌さ

れた器具を扱い、人体の処置を行う操作)、安全・安楽を考えた看護、患者さんへの説明や指導については改善すべき部分があると感じました。

ブータンの現状と問題を考慮した上で、実践可能な対策を検討していくことが重要です。今回の視察で得た課題をもとに効果的な検討をしていきます。

社会貢献

地(知)の拠点整備事業
真に地域に役立つ大学を目指して

秋田大学は、文部科学省の平成25年度「地(知)の拠点整備事業(センター・オブ・コミュニティ=COCC事業)」に採択されました。全国319校の大学等が申請したもので、秋田大学は52校の採択校の一つです。この事業は、平成29年度までの5年間を目標に、超高齢社会においても希望を持てる「秋田発の地域生活モデル」の構築と、地域に必要とされる大学を形成することを目的としています。

メインテーマは、秋田県が抱える重要な課題の一つである「一人ひとりを大切にし、自立した高齢社会に向けた地域づくり」として、二人ひとりを大切に「し」とは、高齢化に伴って現れてくる様々な個人差・多様性をお互いに尊重し合えること、また「自立した高齢社会」とは、生活上の自立・精神上の自立、学習上の自立がある地域コミュニティを指しています。秋田県は、現在ではもちろんのこと、将来的にも高齢化率全国トップが予測される超高齢社会県です。秋田県と連携自治体と協働し、将来に希望の持てる地域生活モデルの構築を目指していきます。

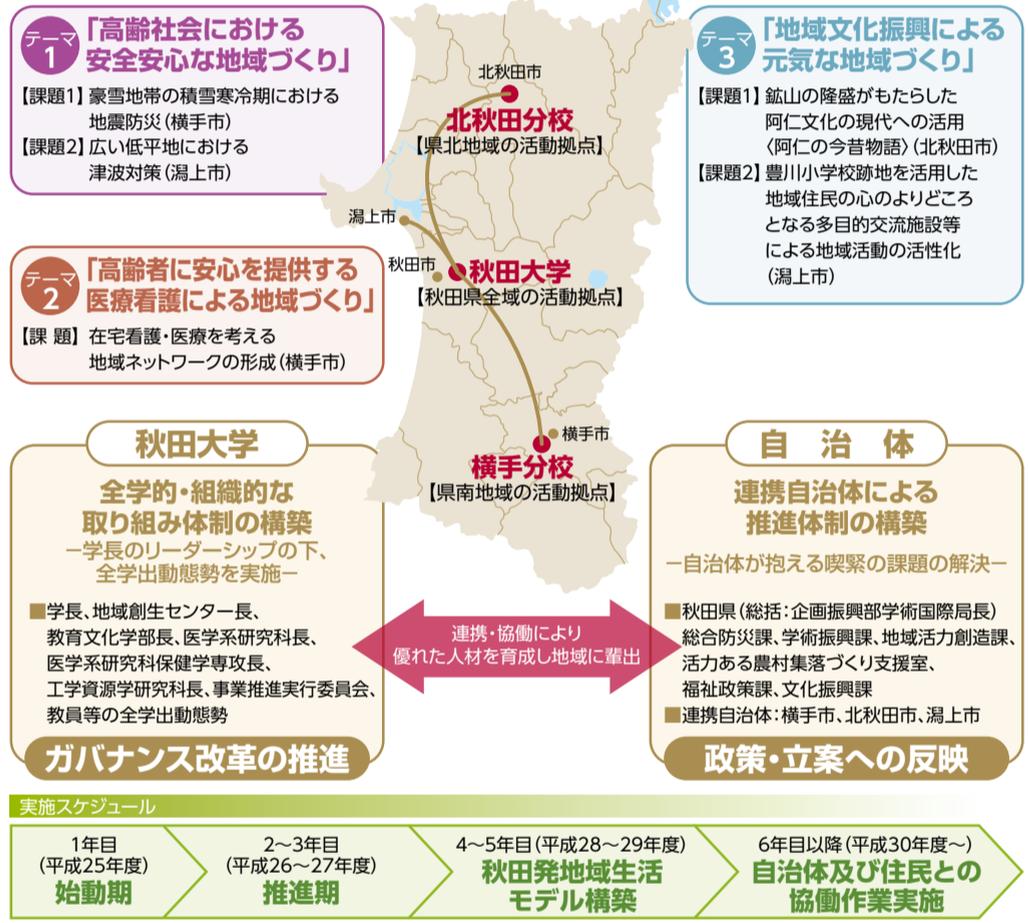
「地(知)の拠点整備事業(大学COCC事業)とは?」
文部科学省の新規重点補助事業。大学が地元自治体等と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学等を支援することで、地域再生・活性化の拠点となる大学の機能強化を図ることを目的としています。

連携自治体からのメッセージ
秋田県横手市総務企画部市長公室 政策監 辻 正憲
この度は、地(知)の拠点整備事業に秋田大学や秋田県の皆様とともに参画させていただくことになり感謝申し上げます。高齢化が進む横手市では、「地域医療連携推進事業」や、積雪期の「横手市地域防災計画」の策定を急務として取り組んで参りました。こうした中で、地域医療に因りては、過疎化に悩む地域の活性化につなげていくこと。そして、豪雪地帯の厳しさにめげない骨太の在宅医療・看護を含めた地域包括ケア体制を目指していかれるものと確信しています。一方、防災面では、近年の異常気象や高齢化社会における安心・安全な地域づくりの観点から、皆様と積雪時の地震防災・減災活動に取り組めることは、とても有益と考えております。ぜひ協力し合い、高齢化が著しい豪雪地帯の課題の解決を図り、安心・安全な地域づくりを目指したいと思っております。そして「地域に根ざした大学」「災害による犠牲者ゼロ」という大きな目標に繋がることを祈念申し上げます。

抱える重要な課題の一つである「一人ひとりを大切にし、自立した高齢社会に向けた地域づくり」として、二人ひとりを大切に「し」とは、高齢化に伴って現れてくる様々な個人差・多様性をお互いに尊重し合えること、また「自立した高齢社会」とは、生活上の自立・精神上の自立、学習上の自立がある地域コミュニティを指しています。秋田県は、現在ではもちろんのこと、将来的にも高齢化率全国トップが予測される超高齢社会県です。秋田県と連携自治体と協働し、将来に希望の持てる地域生活モデルの構築を目指していきます。

一人ひとりを大切にし、自立した高齢社会に向けた地域づくり

横手市・北秋田市・潟上市をモデルケースとして全県へ発信



平成25年度 地域志向教育研究経費を公募しています。(学内教員限定)
地域志向の教育・研究に熱意のある教員の方々の応募をお待ちしております。(詳しくは、AU-CISの全学掲示板をご覧ください。)

秋田県立美術館グランドオープン記念・第29回国民文化祭・あきた2014応援事業
世界初! 葛飾北斎がフェルメール・ブルーで描きあげた瞬間を再現!
2013.11.16 [Sat] - 12.15 [Sun]
秋田県立美術館
富嶽三十六景、諸国瀧廻りの全作品を最新のデジタル技術でリ・クリエイト。初めて見えた北斎の旅。
お問い合わせ: 秋田テレビ事業開発部 018-866-8030 (平日9:00~17:00)

先輩なう。

様々な現場で活躍している秋田大学OB・OGの「今(IIなう)」をお届けします。ひと足先に秋田大学を卒業した先輩たちからのメッセージです。

【質問内容】

- プロフィール
- 出身地、出身高校
- 今の仕事を選んだ理由は?
- 仕事内容は?
- 仕事をやる上で心がけていることは?
- 休日の過ごし方は?
- 学生時代、一番印象に残っている講義・実習は?
- 秋と言えば、何の秋?
- 後輩のみなさんにメッセージをどうぞ



石川 友利恵さん
Ishikawa Yurie

勤務先
(株)秋田情報センター
仙台支社 システム開発部

工学資源学部 情報工学科
平成25年3月卒業

秋田県 / 秋田県立秋田中央高等学校

【座右の銘】

不言実行



對馬 和希さん
Tsushima Kazuki

勤務先
(独)石油天然ガス・金属鉱物
資源機構 (JOGMEC)

工学資源学研究所 地球資源学専攻
平成22年3月修了

岩手県 / 岩手県立盛岡北高等学校

【座右の銘】

一期一会

Answer



③ システム開発という仕事を通じて、社会に改善と利便性を提供することで、より多くの方々のお役に立てるのではないかと感じ、この仕事を選びました。また、地元が好きなので東北で働きたいという思いも強くありました。



④ 現在はお客様に自社システムを快適に使っていただくための保守を行っています。先輩方に教わりながら設計・製造・テストを行い、少しずつ業務の知識を身に付けているところです。



⑤ 何が分からないかを明確にし、自分なりに考えてみることです。質問する際の伝え方がまだまだ上手くないので、日頃から話し方を意識するようにしています。



⑥ 同期や社外研修で知り合った友人と食事に行ったり、買い物に出かけたりすることが多いです。最近では資格取得のために自宅や図書館で勉強して過ごすこともあります。



⑧ 「読書の秋」。学生時代はあまり本を読むことがありませんでしたが、最近では様々なジャンルの本に興味を持つようになりました。これを機会に読書の習慣をつけて教養を深めたいと思っています。



⑨ 大学生活を通して、卒業してから付き合いの続く友人を見つけてください。それぞれ違う場所で違う仕事をしていても、時々連絡を取り合ってお互いの近況を聞くと「自分もがんばろう!」と元気が出てきます。

Answer



③ 一番の理由は、大学で学んだことを活かせる仕事に就きたいと考えたからです。現在も大学で学んだことを基礎として業務に動んでいます。さらに、海外を視野に入れた仕事ということも魅力として感じたポイントでした。



④ 基本的に「石油や天然ガスがどこに隠れているのか」を探る仕事をしています。国内だけでなく、国外のプロジェクトにも携わることができ、時には実際に海外(現地)に赴き、現地の技術者とも活発な交流を行っています。また、技術面だけでなく経済的観点からもプロジェクトを把握しなければならないので、毎日学ぶことが多く苦労する場面が多々ありますが、非常にやりがいのある仕事だと思っています。



⑤ 主に2つあり、1つ目は疑問に感じたことは分かったフリをせず、すぐに聞くようにし、周囲との信頼関係を壊さないために中途半端なことはしないようにしています。2つ目はそれぞれの作業に締切を設け、自分なりにタイムスケジュールを組み、業務を効率的にこなせるよう心掛けています。



⑥ 週に1度、平日のアフターファイブに会社のフットサル部に参加し、定期的にリフレッシュするようにしています。また、毎週ではありませんが、草サッカーチームの練習やジムにも通っています。



⑦ 学部3年次の夏に実施される進級論文で、約1カ月間、秋田県内の担当エリアの地質調査を行ったことです。基本的に1人での調査となることに加え、夏の野外調査は過酷な環境だったので、強く印象に残っています。しかし、その経験があったからこそ、石油・ガス探鉱技術者として働く今の私があると思っています。



⑧ 食欲の秋、運動の秋、そして「物欲の秋」です。寒くなる前に何かを買いたくなるものなのでしょうか。最近では特に、学生の時から使用している家電を買いたい衝動に駆られています。

⑨ 学生の間に何を頑張ったか、そこで何を学んだかを1つでもいいので見つけてほしいです。それは社会人になった時の大きな財産となるはずです。また、学業も大事ですがサークル・アルバイト・ボランティア等で人とのつながりをたくさん作ることも、将来を見据えた大事な勉強だと思います。

konditorei Jin
コンディトライジン

ドイツの伝統菓子
シュトローレン
1本 ¥2,000 (箱入り)



クリスマスケーキの予約受付中です。

シュトローレンは、クリスマスを待つあいだに薄く切って少しずつ食べるドイツの伝統菓子です。5種類のスパイスをブレンドし、ナッツ、マジパン(アーモンドのペースト)やドライフルーツを入れてリッチに仕上げました。

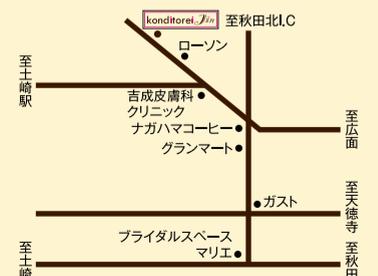
クリスマスシーズン限定

欧風菓子

Jin konditorei

秋田市将軍野青山町15-49
TEL.018-827-3266

《営業時間》9:00~20:00
《定休日》毎週火曜日



数量限定ですので、お早めにお買い求めください。

大学開放事業

秋田大学子ども見学デー

「キミの」わくわく「見つけにいこう！」

秋田大学は、児童生徒の学力向上と、科学・学問への興味や関心を高めてもらうため、大学開放事業として人的資源の提供と大学施設への受け入れなどを積極的に展開しています。今回はその中から、毎年8月に開催している「秋田大学子ども見学デー」をご紹介します。

秋田大学子ども見学デーは、小中学生とその保護者を対象に、大学内での見学や体験を通じて、親子のふれあいを深めながら、秋田大学への関心をより一層深めてもらうことを目的とし、夏休み期間に合わせて毎年開催しています。

今年度は8月7日に開催。244人(104家族)の参加者が、教育文化学部、医学部、工学資源学部、総合情報処理センター、ベンチャーインキュベーションセンター、附属図書館がそれぞれ用意した11のコースに分かれて各プロ



超音波診断装置を操作する参加者



強力電磁石の実験

グラムを体験しました。今回医学部で初めて企画した「お母さんに育まれていく可愛い命をみてみよう」というコースでは、妊婦をモデルにした人形を超音波診断装置で観察しました。参加者は看護師の指導のもと人形のお腹に機械をあて、モニターのお腹でお腹の中にある赤ちゃんを確認していました。参加者からは「リアルな赤ちゃんの映像を見て、医者になる夢がふくらんだ」などの感想があり、医療機器操作という貴重な体験をしたほか、生命の誕生についても親子で話題にする良い機会となったようでした。

各プログラム終了後、参加者は吉村昇学長と一緒に撮影した記念写真を受け取り、全行程を終えました。子どもたちが「大学ってすごい! おもしろい!!」と大学に興味を持つきっかけになったのではないのでしょうか。



吉村学長と記念撮影

この他にも秋田大学では大学の雰囲気や体験してもらうオープンキャンパス、小中高生を対象にした総合学習「職場体験の環」としての大学訪問、毎月開催している子どもものづくり教室や夜間天体観測会など、様々な取り組みを行っています。詳しい情報は秋田大学ホームページからご覧いただけますので、ぜひ皆さんご参加ください。

地域創生課 村雲 伸一

●くわしくは「秋田大学 社会貢献」で検索!!
秋田大学 社会貢献 検索

今日歩大会

友の思い出に浸る

平成25年度の「第48回秋田大学今日歩大会」は5月25日(土)夜から翌朝にかけて開催され、学生、教職員、一般の方など約450人が参加しました。男鹿半島の寒風山展望台駐車場(海拔約350m)から秋田大学手形キャンパスまでの40.3kmを踏破あるいは走破する、毎年恒例の名物行事です。

今回は同僚の女性職員2人と共に挑戦しました。広い駐車場から見える綺麗な夜景とお別れしスタートです。走る人たちが先に、その後ろに歩く人たちの列が続きます。あまり風も無くじつとり汗をかきながら、黙々と山を下りました。平地のコースになると2人はペースアップ。途中5カ所のチェックポイントで実行委員会の学生から参加証の手ぬぐいに記入してもらおうのですが、そこでも殆ど休憩しません。少しでも気を抜くとすぐに離れてしまうので小走りで食らいついていました。空が白み始め、大学に程近くなった頃ついに心くじけて遅れ始め、2人の姿は小さくなっていききました。そしてすっかり夜が明け、だいぶ遅れてゴール。しかしながら、今までの最高順位、女子個人28位を記録しました。自分自身としては快挙です! ゴール



スタート直後の参加者

の先で待つていてくれた2人も合流、痛い足を引かずながらよろよろと学生会館の食堂のテーブルに着き、「かけうどん」のサービスを味わいます。その温かさ、そのおいしさはなんとも言えません。まさに五臓六腑に染み渡る味。このために参加したと言っても過言ではないでしょう。

そして今回参加したもうひとつの理由は、突然他界した友人の供養のためでした。今年も一緒に参加して、同じ道を歩きたかった。それでも長い道のりのなか様々な思い出を噛みしめつつ歩き通したことで、一緒にゴールできたような気持ちになりました。毎年参加する方々の目的はそれぞれあるかと思いますが、私にとって特に忘れられない今日歩大会になりました。

企画広報課 佐藤 陽子



情報系トークバラエティ+きクーポン

「ナキ」桜庭編集部

gorgeous friday radio program

ON AIR!! 毎週金曜日 PM6:00~PM6:55 にぎわい交流館AU内「スタジオなかいち」にて放送中!!



「編集部員」真坂はつき

「副編集長」椎名恵

「編集長」桜庭みさお

ニュース & トピックス
News & Topics

報道関係者と学長との懇談会

7月30日、最近の秋田大学の動向及び今後の取組計画などに関する説明と質疑応答を通じて、秋田大学の諸施策に関して理解を深めてもらうことを目的に、秋田県政記者会加盟の報道関係機関(10社)と学長等との懇談会を開催しました。

平成26年度に向けた秋田大学の改革状況や、秋田大学イノベーション創出総合研究機構、グローバル&イノベーション人材創生コンソーシアムあきた、男鹿なまはげ分校の開設など、秋田大学の諸施策について説明し、質疑応答を行いました。

秋田大学竿燈会、秋田竿燈まつりに連続43回目の出場

国の重要無形民俗文化財に指定されている東北三大まつりのひとつ秋田竿燈まつりが、8月3日から6日まで行われ、秋田の夏を大いに盛り上げました。教職員で構成する秋田大学竿燈会も昭和46年の初出場以来、今回で連続43回目の出場を果たし、また、まつり2日目は附属特別支援学校が29回連続の出場を果たしました。



今年度の秋田竿燈まつりは、総数266本の竿燈が出陣。秋田大学も、高さ12m、重さ50kgに及び、大若し本を出陣し、笛や太鼓の勇壮なお囃子の音に合わせ、「差し手」たちが連日みごとな演技を披露して、観客から盛んな拍手を浴びていました。

竿燈まつり本番に先駆けて、8月2日夕方からは恒例の「附属病院竿燈まつり」を医学部附属病院構内で開催。入院中の患者さんたちは医師や看護師の付き添いのもと、一足先に竿燈の妙技を楽しみました。演技終了後には、用意された子ども用の半纏に袖を通して記念撮影をしたり、竿燈に触れたり、お囃子の太鼓をたたいてみたりなど、秋田の夏の風物詩である竿燈を満喫していました。

なつた今回のアジア予選では、自己ベストを14分更新し、10時間1分でゴールしました。世界選手権は来年10月11日、ハワイ島・コナにて行われます。

川原谷さん、トライアスロン世界選手権アジア予選で優勝



工学資源学研究所技術長の川原谷さんが、8月31日に行われたトライアスロンの世界選手権アジア予選でアジア予選45〜49歳の部で優勝しました。

トライアスロンは、スイム3.8km、バイク80km、ラン42.195kmの三種目の合計タイムを競う競技です。川原谷さんがこの競技を始めたのは25歳のとき。9回目の挑戦と

なつた今回のアジア予選では、自己ベストを14分更新し、10時間1分でゴールしました。世界選手権は来年10月11日、ハワイ島・コナにて行われます。

美味しい健康油・アケビ油、地元企業と共同研究



教育文化学部地域科学課程の池本敦准教授は、由利本荘市の矢島小林工業株式会社と共同で、アケビ油の研究に取り組んでいます。白くて甘い果実として知られるアケビ。秋田では江戸時代、この種子を食用油の材料として有効活用していた歴史がありました。最高級の食用油と呼ばれ、江戸や京都でも重宝されたとの記録が残っています。採取にコストがかかり大量生産ができずに廃れてしまったアケビ油ですが、成分を分析したところ、体に脂肪がつきにくい特性を持つことが判明しました。約300個のアケビから3.2kgの種子が採れ、これを電動搾油機にかけて油を採取します。

今後は、有効性や安全性、品質特性についてさらに研究を進めていく予定としており、美味しい健康油として活用が期待されます。

男鹿なまはげ分校を開設

9月30日、3校目の分校である「男鹿なまはげ分校」を男鹿市に開設しました。はじめに、男鹿市役所で分校看板の上掲式と記者会見を行った後、男鹿市民文化会館に会場を移し、秋田大学混声合唱団エース・クワイアによる合唱、客員教授の若松節朗氏による記念講演を行いました。



今後はこの分校を拠点に、男鹿地域の交流人口増加と児童生徒の学力底上げをコンセプトとし、①首都圏私立大学と連携した教育実習生の受け入れ ②秋田大学生を活用した勉強合宿等の実施 ③地域特性を考慮した防災・減災の調査研究 ④八幡八幡等の地域資源を活用した食文化の継承活動 といった取り組みを目指します。

山田教授、ベルツ賞1等賞を受賞

医学系研究科の山田祐一教授(内分泌・代謝・老年内科学)が、エルウィン・フォン・ベルツ賞1等賞を受賞しました。

同賞は、日独両国間の歴史的な医学関係を回顧するとともに、両国の医学面での親善関係をさらに深めて行くことを目的に、1964年にドイツの製薬会社が設立した伝統ある賞で、今年で50回目になります。今回の受賞は「インクレチン」

生理学、病態生理学そして臨床医学への展開」の研究が評価されたもので、清野裕関西電力病院長、稲垣暢也京都大学教授、清野進神戸大学特命教授との共同受賞です。消化管因子であるインクレチンによるインスリン分泌の分子基盤を確立し、インスリン分泌におけるグルコースとインクレチンの相互作用やインクレチンによる膵外作用を解明するとともに、糖尿病におけるインクレチンの役割を明らかにし、インクレチン関連薬の臨床医学を切り拓いたことが評価されました。

真民の健康を守る“秋田大学医療フォーラム”

9月24日、秋田拠点センター・アルヴェで「真民の健康を守る。秋田大学医療フォーラム」を開催。なんと一緒に最先端のがん治療を学ぼう」を開催しました。はじめに、澤田賢一医学系研究科長が挨拶。続いて、羽瀨友則教授と柴田浩行教授が最新のがん治療について講演しました。その後、タレントの間さんによる特別講演があり、アースマラソン挑戦中に見つけたご自身のがんについて、ユーモアを交えながら闘病体験談をお話しされ、会場は爆笑の渦に包まれました。

最後に、間さん、小山田雅秋田県医師会会長、南谷佳弘教授、寺田幸弘教授がパネリストとなり、来場者との質疑応答を交えながらフリートークを行い、約400人の来場者が熱心に聴き入りました。



秋田大学限定 教育ローン

変動金利 年2.475% 保証料込み

ご利用いただける方

秋田大学(大学院を含みます)に入学または在学する「学生の扶養者」または「学生」の方 ※その他諸条件がございます。詳細は店頭の説明書をご覧ください。

ご融資利率

[変動金利] 年2.475% (保証料込み) ※金利情勢の変動によっては、金利を見直す場合があります。

ご融資金額

10万円以上 500万円以内

[医学部医学科の場合]

10万円以上 1,000万円以内

ご融資期間

15年以内 元金据置期間5年以内(在学期間以内)+返済期間10年以内(120回返済以内)とさせていただきます。

[医学部医学科の場合]

17年以内 元金据置期間7年以内(在学期間以内)+返済期間10年以内(120回返済以内)とさせていただきます。

※店頭・ホームページでご返済額の試算ができます。 ※くわしくは店頭の説明書をご覧ください。

秋田銀行 http://www.akita-bank.co.jp/



■ 教育研究プログラム等採択状況（平成25年7月1日～9月30日採択分）

制度名	プロジェクト名	事業期間(年度)	交付金額等 (単位:千円)	所属・事業代表者
ノウハウ等の保護を図るために、意匠、商標権等の活用を行う産学連携拠点モデル	平成25年度産学連携評価モデル・拠点モデル実証事業(モデル構築事業)	25年度	5,000	秋田大学長 吉村 昇
ノウハウ等の保護を図るために、意匠、商標権等の活用を行う産学連携拠点モデル	平成25年度産学連携評価モデル・拠点モデル実証事業(モデル実証事業)	25年度	6,000	秋田大学長 吉村 昇
平成25年度大学改革推進等補助金	地(知)の拠点整備事業	25年度～29年度	25年度配分額 ※29,562	秋田大学長 吉村 昇 地域創生センター 准教授 濱田 純
常磁性探針を用いた磁気記録ヘッドの高周波磁場検査システムの開発	研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	25年度	1,690	ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー 特任助教 木下 幸則
スクリューとロッドを使用しない革新的高性能脊椎制動具の開発	研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	25年度	1,690	医学部附属病院 講師 菅原 卓
生体吸収性高分子による心膜用シートの開発	研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	25年度	1,690	工学資源学研究所 教授 寺境 光俊
耐食鋼のグリーンスチール化を実現する表面改質技術の開発	研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	25年度	1,690	工学資源学研究所 教授 原 基
溶融塩化物を用いた電解法によるネオジム磁石からのNdおよびDyの高効率選択回収	研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	25年度	1,690	工学資源学研究所 講師 福本 倫久
有機酸と糸状菌バイオマツトを活用した農地土壌用低コスト除染技術の開発	研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	25年度	1,690	工学資源学研究所 講師 村上 英樹
もみ殻由来熱硬化性バイオプラスチックの開発	研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	25年度	1,690	工学資源学研究所 准教授 熊谷 誠治
回転円すいをを用いた極細な抗菌性メルトブロー不織布の製布技術開発	研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	25年度	1,690	工学資源学研究所 准教授 足立 高弘

※25年度～29年度分は184,605千円(申請中)

■ 平成25年度科学研究費助成事業交付決定一覧（新規採択分）

所属・職については、平成25年10月1日現在

研究種目	研究代表者 (所属・職・氏名)	交付金額(単位:千円)			研究課題名
		直接経費	間接経費	計	
研究活動スタート支援	工学資源学研究所 助教 趙 旭	1,100	330	1,430	異なる原子拡散現象の複合利用と環境制御による フラワー状酸化物ナノ構造体の創製
研究活動スタート支援	工学資源学研究所 准教授 山口 誠	1,100	330	1,430	金属オーバーレイヤー・ラマン分光法による 加工変質層における極表面評価
研究活動スタート支援	医学系研究所 教育系補佐員 浅沼 研	1,400	420	1,820	脂質キナーゼ欠損によるがん抑制メカニズムの解明

■ 人事異動情報(平成25年7月2日～10月1日)【掲載対象は、部局長等・教授以上】

発令年月日	新配置	旧配置	氏名
退 職			
平成25年8月1日	退職(死亡)	医学系研究所 教授	溝 井 和 夫
平成25年8月24日	退職(死亡)	工学資源学研究所 教授	加 賀 谷 誠
採 用 等			
平成25年10月1日	新学部創設準備担当 教授		縄 田 浩 志
平成25年10月1日	新学部創設準備担当 教授		井 上 亮
平成25年10月1日	医学部附属病院 教授	寄附講座等教員	佐 藤 滋

発令年月日	新配置	旧配置	氏名
昇 任			
平成25年9月1日	工学資源学研究所 教授	工学資源学研究所 准教授	徳 重 英 信

■ 海外渡航【教職員の外国出張・海外研修】(一カ月以上)

所属・職名・氏名	渡航目的	渡航先国	渡航期間	備 考
国際課 事務職員 宮崎 舞	秋田大学並びに蘭州大学職員相互派遣	中国	25.9.1～25.11.27	研修

■ 海外渡航【学生の海外派遣事業等】

事業名または経費	所属学部等名・氏名	留学先大学名(国名)	渡航期間
秋田大学学生海外派遣支援事業	教育文化学部 国際言語文化課程 [3年] 桜井 愛莉	交換留学/ブカレスト大学(ルーマニア)	25.9.～26.7
秋田大学派遣交換留学生	教育文化学部 国際言語文化課程 [4年] 竹田 香奈	交換留学/ケミ・トルニオ応用科学大学(フィンランド)	25.8～25.12
秋田大学派遣交換留学生	工学資源学部 生命化学科 [4年] 飯地 雄大	交換留学/ケミ・トルニオ応用科学大学(フィンランド)	25.8～25.12
秋田大学学生海外短期研修支援事業	教育文化学部 国際言語文化課程 [1年] 阿部 かなえ	ビクトリア大学英語センター(カナダ)	25.9
秋田大学学生海外短期研修支援事業	教育文化学部 国際言語文化課程 [1年] 有明 侑子	ビクトリア大学英語センター(カナダ)	25.9
秋田大学学生海外短期研修支援事業	工学資源学部 環境応用化学科 [1年] 佐伯 文哉	ビクトリア大学英語センター(カナダ)	25.9
秋田大学学生海外短期研修支援事業	工学資源学部 電気電子工学科 [1年] 井上 悠	ビクトリア大学英語センター(カナダ)	25.9
秋田大学学生海外短期研修支援事業	工学資源学部 地球資源学科 [4年] 氏原 宏	フィリピン大学ディリマン校(フィリピン)	25.7～25.8
秋田大学学生海外短期研修支援事業	工学資源学部 地球資源学科 [4年] 齋藤 貴明	フィリピン大学ディリマン校(フィリピン)	25.8
秋田大学学生海外短期研修支援事業	工学資源学部 地球資源学科 [4年] 米田 直人	フィリピン大学ディリマン校(フィリピン)	25.8
秋田大学学生海外短期研修支援事業	教育文化学部 国際言語文化課程 [2年] 岩濤 秀也	アルベルト・ドルドウィグ大学フライブルク(フライブルク大学)(ドイツ)	25.8
秋田大学学生海外短期研修支援事業	教育文化学部 国際言語文化課程 [2年] 千葉 大樹	アルベルト・ドルドウィグ大学フライブルク(フライブルク大学)(ドイツ)	25.8
秋田大学学生海外短期研修支援事業	教育文化学部 国際言語文化課程 [3年] 藤原 菜央	アルベルト・ドルドウィグ大学フライブルク(フライブルク大学)(ドイツ)	25.8
秋田大学学生海外短期研修支援事業	教育文化学部 国際言語文化課程 [3年] 門岡 奈央	アルベルト・ドルドウィグ大学フライブルク(フライブルク大学)(ドイツ)	25.8

〈催し物〉……………

平成25年度 第1回 鉱業博物館特別展「阿仁の絵巻がつむぐ150年前の銅プラント」

江戸時代に阿仁鉱山で行われていた、銅鉱の採掘や粗銅の生産等の様子が描かれた絵巻を中心に展示する。

- 10月1日(火)～12月1日(日)9:00～16:00
- 工学資源学研究所附属鉱業博物館
- ☎018・889・2461

鉱業博物館の無料開放

教育・文化週間にちなみ、無料開放を実施。

- 11月2日(土)～4日(月)
- 工学資源学研究所附属鉱業博物館
- ☎018・889・2461

秋田大学全学駅伝競走大会

男子の部(全10区間/41.6km)、女子の部(全6区間/14.0km)の2コースがあり、大学の恒例行事として健脚を競う。

- 11月2日(土) ☎018・889・2255

世界の手話を知ろう!

～アジア・アフリカの手話はどんな言葉?～

フィリピンとケニアの手話を中心に、アジア・アフリカの手話を使って生活しているろう者の人々の生活を紹介します。世界のろう文化とコミュニケーションのあり方を考える。

- 11月9日(土)9:30～15:10
- 秋田大学60周年記念ホール
- 参加無料 ☎018・889・3003

あきた産学官連携フォーラム2013

秋田県内の企業・大学・産業支援機関等が一堂に会し、先進的な産学連携事例、各機関のこれまでの取り組み、研究シーズ等を発表・展示する。

- 11月26日(火)13:00～17:30
- 秋田拠点センター アルヴェ 2階多目的ホール(秋田市東通仲町4番1号)
- 入場無料 ☎018・889・3011

産学イブニング・サロンあきた(SESSA)

産(企業)、学(大学)、官(行政)らが集い、切磋(SESSA)琢磨する交流の場、大学の研究を説明する対話の場とすることを目的に開催。自由に語らいながら秋田の未来につながるヒントを探します。

- 第20回 ●11月28日(木)18:00～20:00
- 第21回 ●12月26日(木)18:00～20:00
- 第22回 ●1月23日(木)18:00～20:00
- 秋田大学手形キャンパス 大学会館
- 会費1,000円 ☎018・889・2712

平成25年度 秋大憩いのコンサート

- 第38回 ●11月30日(土)14:00～
“ロシアより愛をこめて”/チャイコフスキー、ラフマニノフ…ロシアの作品を集めて
- 第39回 ●12月14日(土)14:00～
“学生によるクリスマス・コンサート”/ピアノ、声楽、管楽器、合唱
- 第40回 ●1月26日(日)14:00～
“西洋音楽事始め”/幸田延、滝廉太郎…日本における初期の洋楽作品を発掘
- 秋田大学インフォメーションセンター
- 入場無料 ☎018・889・2647

市民のための夜間天体観察会

- 毎月第1土曜日
- 教育文化学部天文台(手形キャンパス)
- ☎018・889・2655

鉱業博物館

Mineral Industry Museum of Akita University

秋田大学大学院工学資源学研究所附属

No.6

鉱業の歴史をひもとく 絵巻が語る銅山の姿

鉱業博物館では、国内及び世界各地から産出した様々な色や形の鉱物、珍しい岩石や化石そして鉱工業に関連した資料などを多数展示しています。その中から、今回は「阿仁鉱山銅山働方之図」をご紹介します。

秋田県には、江戸時代に栄えていた鉱山が多数あります。阿仁、荒川、院内などが有名ですが、中でも阿仁鉱山では、銅鉱石の採掘から粗銅の生産までが行われていました。鉱業博物館が所蔵する「阿仁鉱山銅山働方之図」(1864年)には、阿仁で行われていた選鉱から粗銅を生産するまでの工程が絵巻として描かれています。

で行われていた工程です。ここで紹介する絵巻はほんの一部です。平成25年12月1日まで開催される鉱業博物館特別展「阿仁の絵巻がつむぐ150年前の銅プラント」では、全長8mにもおよぶ絵巻全編を公開していきますので、ぜひご来館ください。

銅鉱石から銅を取り出すには多くの工程が必要です。まず、阿仁鉱山の坑内で採掘された銅鉱石は地上に運ばれ、人の手で細かく粉砕されます。そして水路や鉢を使って黄銅鉱と不純物を選り分けられます。選別された黄銅鉱は約30日間釜の中で焼いて硫黄分を取り除き、焼鉱(酸化鉄と酸化銅)にします。その後、焼鉱に木炭とシリカを加えて炉で加熱溶解し、銅の部分(かわ)と鉄とシリカの混合物(カラミ)を鉱滓に分け、銅の部分(かわ)だけを集めて粗銅(純度90%以上)として出荷します。ところが、阿仁鉱山



「阿仁鉱山 銅山働方之図」(部分):
絵巻は右から順に、焼鉱と木炭を加熱溶解してカラミを掻き出し、炉の銅を掻き揚げている。

- 【鉱業博物館】●開館時間/9時～16時 ●休館日/12月26日～翌年1月5日
- 入館料/大人100円 ※高校生以下無料 ●お問い合わせ/☎018-889-2461

しゅうとくんの図書館あるある



ボクは秋田大学附属図書館マスコットの秋田犬、しゅうと。図書館に棲んでいるボクが、図書館にまつわる“あるあるネタ”を教えるワッ。

「蔵書印」のはなし

みんなは知ってるかな? 附属図書館の蔵書は、秋田大学の前身である秋田師範学校、秋田青年師範学校、秋田鉱山専門学校などの旧蔵書を引き継いでいるんだワッ。図書館の蔵書には伝統的に「蔵書印」が押されるんだけど、古い蔵書にはこれら前身校の蔵書印が押してあるんだワッ。特に秋田師範学校は何度も校名が変わっているから、蔵書印も時期によって違うんだよ。時には、図書館の蔵書となる前の持ち主の蔵書印があったりして、図書館のたどってきた歴史がわかって興味広がるんだよね! 皆さんも今度古い蔵書を読むときには、ぜひ「蔵書印」もチェックしてみてくださいワッ!



秋田県師範学校図書館蔵書印



秋田鉱山専門学校蔵書印



秋田大学附属図書館蔵書印

編集後記

平成26年4月、秋田大学は従来の3学部から4学部生まれ変わります。今回の特集では新設される「国際資源学部」について深く掘り下げた情報をお届けしました。多彩なコースやカリキュラムの内容を見ると、海外でのフィールドワークなどに興味のある方はわくわくしてきたのではありませんか? ぜひ秋田大学の今後にご注目ください。

今回の表紙モデルは10月5日に行われた医学部祭「秋医学祭」でミス秋医学祭に輝いた、医学部保健学科1年の三浦さん。十代の初々しさが初秋の本道キャンパスの木々に映え、明るく楽しい撮影になりました。後ろに見えるのは医学部附属病院の病棟です。ただ今、外来・中央診療棟の改修工事を行っており、大学病院としての機能もより一層充実する予定です。皆さんに新しい姿をお見せできる日が待ち遠しいです。

秋田市内でも紅く色づいた葉がちらほら見えるようになりました。大学祭や駅伝大会など学生主催の行事が続く季節。初めて参加する学生も、今年が最後となる学生も全力投球していると思います。皆さんもぜひ行く秋を満喫してください。(陽)

●「アプリーレ」の由来

「アプリーレ」とは、イタリア語で「開く、開ける」という意味です。「積極的に秋田大学の窓を開放すること意識して名付けられました。」